

国立大学法人山形大学

社会共創デジタル学環

令和7年度 開設 | 入学定員 30 名 | 学位: 学士 (社会共創学)

総合知の実践で地域社会にイノベーションを生み出す

「総合知」とは、内閣府において「多様な『知』が集い、新たな価値を創出する『知の活力』を生むこと」と定義されており、イノベーション創出や社会課題解決に向け、所属組織や専門領域を超えた様々な知を融合させることです。

School of Collaborative Regional Innovation and Data Science, Yamagata University

山形大学 社会共創デジタル学環とは？

人と共創し、データに基づく価値創造で地域社会をマネジメントする人材を育む新しい教育組織です

人口減少や高齢化が進展する地域社会では、過疎化や産業の衰退など様々な地域課題に直面しています。そうした地域課題を解決していくには、課題を俯瞰して思考できる文系・理系の総合知を持ち、デジタルを活用して課題を分析し、多様な人々と協働してその解決策を創造できる人材が必要です。このような背景のもと本学環では、多様な人々と協働して地域課題の解決策を企画・実施できる「マネジメント力」とデジタルを活用して的確に課題を分析し、新たな価値を創造できる「デジタル活用力」、そして文系・理系の学問分野を横断する学際的な専門知識と論理的思考力(学際的思考力)を身に付けた、課題解決型の実践人材を育成します。

学びの場

学生と地域をシームレスにつなぐ「共創フュージョンラボ」
多様な人が同じ空間で融合的に研究を行うオープン研究スペース。地域課題に関する様々な議論・研究活動を実施する。学生・研究者・地域の方を繋げるために、1フロアとし発展的に出会いを生みだす。

新しいモノやコトを生み出す「共創アトリエ」
社会共創に必要なモノやコトを作り出すためのオープンスペース。学環実践演習科目等の講義を行ったり、講義以外の時間帯は小白川キャンパスのオープンスペースとして、学生がモノやコトを創造する空間。

共創Lab & Atelier



(※改装予定)



養成する人材像 Persons

マネジメント力、デジタル活用能力及び文理の幅広い学問領域の学際的知識と論理的思考力を身に付け、多様な人々と協働して地域社会の課題解決に貢献することができる人材を養成します。

文理を横断する専門分野の知識と論理的思考力を身に付け、自身の有する能力を活かしながら様々な原因が複雑に絡み合う地域課題の解決に挑戦することができる人材

異なる背景や能力をもつ多様な人々と協働して地域課題の解決に取り組めるチームینگ力とコミュニケーション力、及び課題に応じたリーダーシップやフォローシップを発揮することができる人材

アントレプレナーシップやビジネスの視点を持ち、デジタルを活用して地域社会における課題の発見や分析、解決のための企画立案、新しい地域価値の創造に貢献できる人材

学生納付金

入 学 金	授 業 料	
282,000円	前期分:267,900円、後期分:267,900円	年額:535,800円

*金額は予定です。在学中に改定が行われた場合は、改定時からの新授業料が適用されます。

キャンパス

山形大学 小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

JR山形駅から東方へ約2.5km

- JR山形駅から「山形県庁」行きバスで「南高前・山太入口」下車(約6分)、徒歩7分
- JR山形駅からベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山太入口」下車(約9分)
- 徒歩の場合はJR山形駅から約30分

JR仙台駅から

- 高速バス「山形行き」で「南高前・山太入口」下車(約55分)、徒歩約7分



お問い合わせ先
国立大学法人 山形大学
小白川キャンパス事務部総務課 学環準備室担当
〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12
TEL: 023-628-4505 FAX: 023-628-4120
E-mail: yu-gasoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL: https://www.cid.yamagata-u.ac.jp

学環ウェブサイト



インスタグラム



入試情報はこちら



教育の特色

1 | 文理横断の学び

地域課題を俯瞰的に思考するための文理を横断した学際的な専門知識と論理的思考力（学際的思考力）、地域の特性やニーズを捉えるデジタル利活用力、及びビジネス・アントレプレナーシップ^{*1}の視点で多様な人々と協働できるマネジメント力を用いて、地域課題の解決に貢献できる実践的能力を身に付けます。

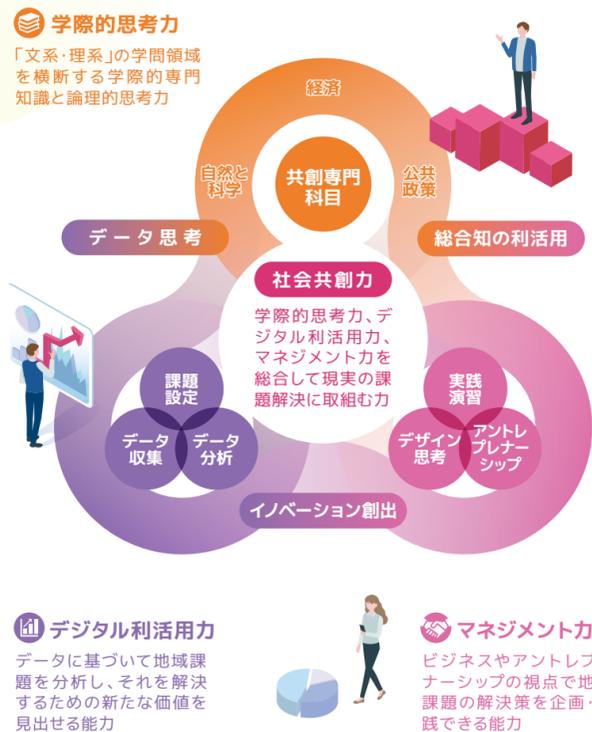
*1 起業や新事業の創出などに高い意欲を持ち、自ら積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力などを指す起業家精神を意味する

2 | 教育支援体制

小白川キャンパスには、アントレプレナーシップ教育研究センターとデータサイエンス教育研究推進センターの教育研究推進組織、及びやまがた社会共創プラットフォームも設置されており、本学環の教育を組織的に支援できる体制が整っています。

3 | マルチメンター制度の導入

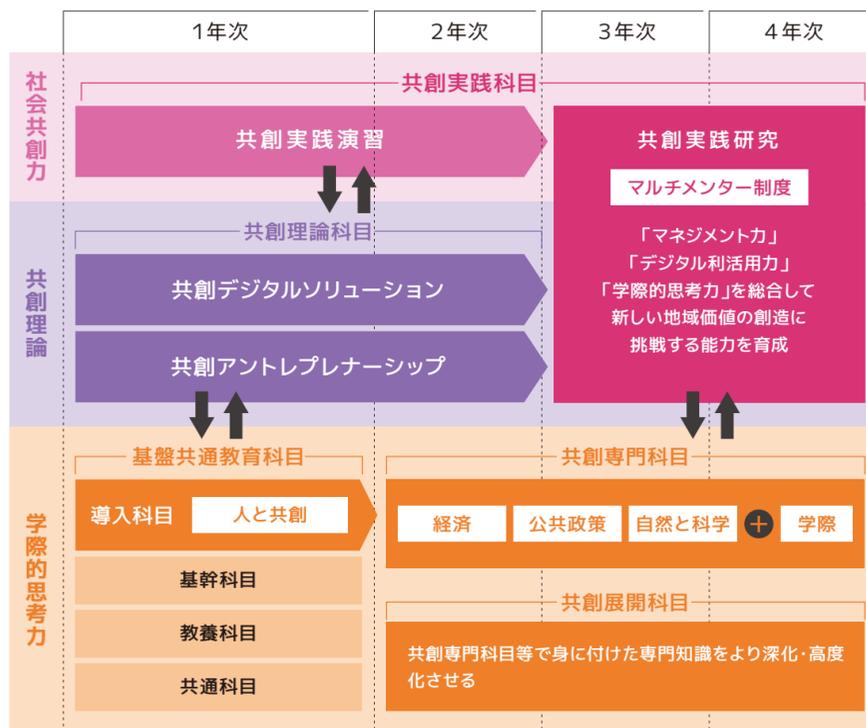
学生の主体性や挑戦する姿勢を尊重し、多様な地域課題に対して柔軟な研究テーマを設定するとともに、文系・理系の学問分野に跨る、専門性の異なる複数教員が助言・指導します。教員のほか、山形県や市町村、企業の方もメンターとして参加し助言いただけます。



Curriculum

カリキュラム内容 *イメージ

地域課題の発見や分析、解決のための企画・立案により、新しい地域価値の創造に貢献できる人材を育成



共創実践科目

共創理論科目で修得する「マネジメント力」と「デジタル利活用力」を実践するために必要な基礎スキルや行動・思考力を修得し、地域社会の諸課題を理解しながら、課題解決のための解決案の立案とそれを地域で実践する力等を育成します。

共創デジタルソリューション

デジタル技術の基本から、実データを使った処理技術まで幅広く学びます。さらに、AIの活用方法を修得し、地域社会の問題を解決するためのデータ分析力や、新しい地域価値を生み出す力を身に付けます。

共創アントレプレナーシップ

ビジネスプランニング、マインドセット、経営実践等に係る科目を配置し、イノベーション創出につながるクリエイティブ且つ変化と向き合う姿勢、リーダーシップ、事業計画の立案と共同実践力等を身に付け、多様な人々とコミュニケーションをとりながら、起業を含む新規事業の企画や実践を通じて地域課題の解決を図っていく実践的能力を育成します。

導入科目「人と共創」

地域社会で暮らす多様な人々の立場や気持ちを理解することは、共に社会を創るために非常に重要です。この講義は、地域社会で生活する様々な人々のお話を伺い、社会共創デジタル学環における学びの意義を把握することを目指します。各学生が学環における自身の学びをプランニングします。

授業紹介



1 | 実態解明 共創実践演習 A

この授業では、地域社会の現状や課題を調査、分析する手法について学びます。実際に地域に出かけてインタビューや観測を行うフィールドワークと、地域に関する統計データの分析など、様々な調査手法やデータを組み合わせ、地域社会の実態解明に取り組みます。



2 | イベント運営・店舗経営 共創実践演習 B

実践演習 B では、近隣自治会の地域活動や学内外でのイベントへの参加・体験をもとにしたイベントの企画・運営と、学内オープンスペースを活用したカフェ経営の実践を通じて、地域社会の構造や課題を理解し、企画した活動やビジネスを持続的に運営するための知識や実践力を養います。



3 | データ分析 共創デジタルソリューション

課題解決が必要となるデータ収集（計測・観察・アンケート等）、データ把握（可視化）、前処理（外れ値・欠損値処理等）、データ分析（AI活用）、データ解釈（モデル化）を学ぶ。多くのオンデマンド教材を活用して、学生自身が積極的に知識を吸収し、活用できる技能を習得する。

教員紹介

「人と共創」「共創実践演習」「共創実践研究」は全教員で担当します。

出口 毅 教授

心理学概論、心理学統計法

専門は教育心理学。学習者と教師との関係を中心とした視点から、教育実践に関わる諸問題を研究しています。

菅生 達仁 准教授

共創アントレプレナーシップ

アントレプレナーシップを醸成する効果的な方法と、起業だけに依らない同発達の事例研究をしています。

土井 敬真 教授

彫刻論、立体造形文化論

専門は美術・彫刻。木彫による作品制作を中心に、日本及び西洋の近・現代彫刻について研究しています。

脇 克志 教授

共創デジタルソリューション

江戸時代の数学「和算」を題材に、日本文化を世界に発信する画像データベースの構築に、取り組んでいます。

奥野 貴士 教授

自然共創科学

専門は生物物理学と環境計測です。目に見えないモノやコトを計測する技術開発により、発見・理解を深めます。

是川 晴彦 教授

ミクロ経済学概論

専門は理論経済学・公共経済学。課税政策が経済に及ぼす効果や中心市街地活性化について研究しています。

滝澤 匡 准教授

自然共創科学

専門は生物学ですが、地域学習にも注力しています。体験的な学習が人材育成に及ぼす影響を研究しています。

大西 彰正 教授

自然共創科学

専門は光物性物理学です。様々な物質の光に対する性質や機能を実験的に明らかにする研究をしています。

渡邊 信児 教授

地域スポーツにおけるコーチング学

スポーツ科学が専門で、トレーニングやコーチングに関することを様々な観点から研究しています。

大森 桂 教授

食文化論、地域食育実習演習

専門は食教育。心身の健康や地域の持続的発展に必要なフードリテラシーについて実証的研究をしています。

本多 広樹 准教授

共創デジタルソリューション

地域における先端技術の普及と活用について、誰がどのように関わっているのかに着目して研究しています。

Lectures